

25 番	長江 秀幸 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
1. 本市の教育の更なる充実について 【質問趣旨】 令和4年3月に「第2次瀬戸市教育アクションプラン—改訂版—」が改訂された。基本理念としては、「瀬戸のすべての子どもたちが瀬戸で学んでよかった」「瀬戸のすべての親たちが我が子を瀬戸で育ててよかった」「瀬戸のすべての市民が瀬戸で生きてよかった」の3つを掲げ取り組んでいる。内容については、7つの基本目標と22の基本施策、78の主な事業に反映した形となっている。その内容について気になる点について伺うとともに、来年度に迫るGIGAスクール端末の更新について伺う。	(1) 基礎的、基本的学力の習得について (2) 不登校児童生徒への対応の充実について	① 各校において基礎的・基本的な学力向上が学校運営の基本に据えられ様々な手立てがなされているとのことだが、具体的にはどのような取り組みを行っているのか伺う。 ② 児童生徒全員がわかる授業を目指し、タブレット端末を用いた個別最適な学びが徐々に進められているとのことだが、どのような成果がみえてきているのか伺う。 ③ 学力を身に付けるには、教職員の授業力向上も欠かせないが、現状と今後の取組について伺う。 ④ 瀬戸市国際未来教育特区の議論が行われた時に、「瀬戸 SOLAN 小学校は、ICT 教育の分野においても先進的な教育環境を整備し、優れた教育内容を展開していくことが企画されており、実施される教育プログラムがモデルとなって、瀬戸市全体の教育水準の向上につながっていくことにもつながると考えられる。さらに、小中一貫教育とも連携し、小中学校職員の研修拠点として機能するような連携云々」などの方針があったと記憶するが、連携の現状と今後の取り組みについて伺う。 ① 令和5年度において4中学校内に、子ども一人一人の個性を大切にし、子どもが安心して居心地よく過ごせる居場所として「せと“ここ”ほっとルーム」を開設した。また、適応指導教室、せと“ここ”ほっとルームやスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの協力などを通し、不登校対策に取り組んでいる。現状把握と今後の対策を検討するため、不登校のきっかけ、背景、学習機会や支援のあり方に関する実態調査を実施している。しかし、不登校児童生徒数の増加に歯止めがかかっていない。(次ページへ続く)

(1 ページ)

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。

2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。

3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

25 番	長江 秀幸 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) 図書館サービスの充実について (4) 支援が必要な子どもへの対応の充実について	特にスクールカウンセラーについては、引き続き拡充配置し取り組んでいるが、今後の方策はどのようなか伺う。 ② 「保護者が必要なのは、学校外での学びの場の情報、安心して話せるつながりの場を保護者は欲しがっている。」との瀬戸市教育アクションプラン推進会議委員の意見もあるが、どのように対応していくのか伺う。 ① 今後の方策として、本館、情報ライブラリー及び地域図書館において、今ある特性を生かし機能を分担し連携を行い、誰も取り残さない図書館サービスを行っていく。機能を分担することで、蔵書があふれ、窮屈になった本館に余裕を持たせ、空間的な魅力を増すことで大人が一日滞在し、子どもも一緒に楽しめる図書館を目指すとするが、間取り及び配置について伺う。 ② 地域・学校・関係機関との連携、ボランティア、サポーターとの協働等、多様な人材の参画による図書館運営により、地域の実情や利用者のニーズに沿った図書館サービスの充実を図るとしているが、これまでもそのような方針はあったと思うが着実にサービスの充実は図られてきているのか伺う。 ① 特別な支援を必要とする子どもや保護者のニーズは多様化しているため、適宜教育相談を行いニーズの把握に努め、相談者との合意形成を図るとともに、他課との連携、特別支援教育支援員配置のさらなる充実にも努め、適切な指導や必要な支援を行うとしている。令和5年度の事業実績として、小学校22校に通級指導教室を開設、小中学校に特別支援教育支援員を17名配置。学校サポーターを22小中学校に配置。特別支援学校に看護師を10名、介護員を7名配置などの実績があるが、十分な人員で支援の成果が得られたのか伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

25 番	長江 秀幸 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(5) 瀬戸らしさを生かした特色ある教育の推進について (6) 魅力ある学校づくりと学校の適正規模・適正配置の推進について (7) 安心して安全な学校づくりの充実について (8) G I G Aスクール端末の更新について	① 瀬戸の教育の特色は何といってもキャリア教育である。しかし、取組等あまり進化していない印象もあるが、現状の成果・実績と今後の取り組みについて伺う。 ① 菱野団地の学校再編計画が進み始め、適正規模・適正配置により、子どもをまん中とした学校が菱野団地の活性化に大きく関わってくる。どのような活性化のイメージ・構想を持っているのか伺う。 ② 萩山小学校と特別支援学校が同じ敷地内にあり一諸に過ごすことで、児童・職員・保護者ともにバリアフリーやノーマライゼーションの意識が身についてきたと思う。それが当初の一番のメリットであったが、今回の再編でそのメリットがなくなってしまうのではないかと危惧するが、どのように対応していくのか伺う。 ① 校舎等の老朽化が進み、内外装の改修や建物を延命する時期がきている。また、G I G Aスクール構想に伴い学校、I C Tの整備が急務となっているが、今後どのように取り組んでいくのか伺う。 ① 今年度から全国で950万台のG I G A端末の更新がスタートし、同時に大量の端末処分が発生することになるが、本市においては、来年度以降、何台程度新端末に買い替え、旧端末を処分する必要があるのか、その際の適切な端末処分とデータ消去に対する認識と具体的な取組について伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

25 番	長江 秀幸 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(9) 令和6年度瀬戸市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書に関する教育長の総評について	② 「G I G Aスクール端末等の小型家電リサイクル法による再資源化の検討にあったっては、同法に基づき国の認定を受けた再資源化業者との連携を検討」との環境省通知があるが、認識と取組について伺う。 ③ G I G A端末の記憶媒体は、単純な物理破壊ではデータの復元が可能とされており、専用ソフトでの処理により、確実にデータを消去しなければ、子どもたちの個人情報の流出につながりかねないが、認識と取組について伺う。 ① 報告書の最後に教育長の総評が掲載されている。中学校ごとの「めざす子ども像」を設定した取組、令和8年度に開校を予定している菱野団地における3小学校の統合に伴う新小学校の取組。また、不登校児童生徒への対応などの記載があるが、改めて教育長の本市の教育に対する決意も含めた方針を伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。